常任委員会は2部門に分かれ審査します。
総務厚生（総務課・企画政策課・税務出納課・町民課・健康福祉課・教育委員会・病院・議会・監査・消防）

総務厚生常任委員会　12月8日

デマンドタクシー町外延伸の実証実験終了

デマンドタクシー町外延伸の実施状況などについて説明を受けた。

【概要】

実証実験として、白鷹町立病院～公立置賜総合病院間（経由地なしの直行便）の町外延伸便の運行を実施。

○運行期間　令和2年6月1日～11月30日（月曜～金曜の週5日1日2往復）

○利用料金　片道千円

【利用実績】

○運行日数　124日

○延べ利用件数　68件

○月平均利用件数　11・3件

○1日平均利用件数　0・55件

質疑

再度の実証実験は

委員　コロナ禍での実験だったため、通常の状況での調査に至らなかったと考える。アンケートには、どう改善すれば利用しやすいかの記述が多い。コロナが落ち着いた段階で、1年を通して実験してはどうか。

当局　コロナは先が見通せず、まずは今回で終了としたい。既存の交通機関とのバッティングもあり、公共交通機関として皆様にご利用いただけるよう、検討したい。

委員　少数であっても利用者にはありがたい。ぜひ続けてもらいたい。

当局　山形交通も運行しており、町全体としての公共交通機関のあり方に配慮しなければならない。細やかに運行した場合、ドライバー確保の問題や時間のロスも入る。その経費の町民負担もあり、ご理解をいただかなくてはならない。最大公約数がどの辺になるか検討させていただきたい。

今後、荒砥高校をどうサポートできるのか

荒砥高校をサポートする会の取り組み状況について説明を受けた。

【取り組む現状】

○令和2年度入学者数は24人であり定員の2分の1を確保。

○今年度より地域連携協議会が発足。従来のサポートする会による経済的支援中心の支援のほか、学校の魅力化に向けた取り組みが可能な状況。

質疑

地域連携協議会との連携は

委員　協議会の開催状況は。

当局　総会と実務者会議を開催。先行的にやる部分と中長期的にやる部分とを分け、長期的な部分は荒砥高校の先生方とも意見交換をしている。

委員　成果を期待したい。取り組みがわかるように町民に知らせるのか。

当局　今年度中に成果を発表したい。ただし、いろいろ議論しながら方向性を出していきたい。町民の生活を考えながら、いろいろなご意見を頂戴したい。

委員　協議会とはどう連携をしていくのか。

当局　サポートする会は荒砥高校をどう残していくかを考え、取り組んできた。協議会はどうやっていくかという形になっている。意見交換をするには、方向を見定めてやっていきたい。

つたわれ、荒砥高校の魅力
（地区別学校説明会）